

---

 ニ ュ ー ス
 

---

## 日本の火山活動概況（2014年5月～6月）

気 象 庁

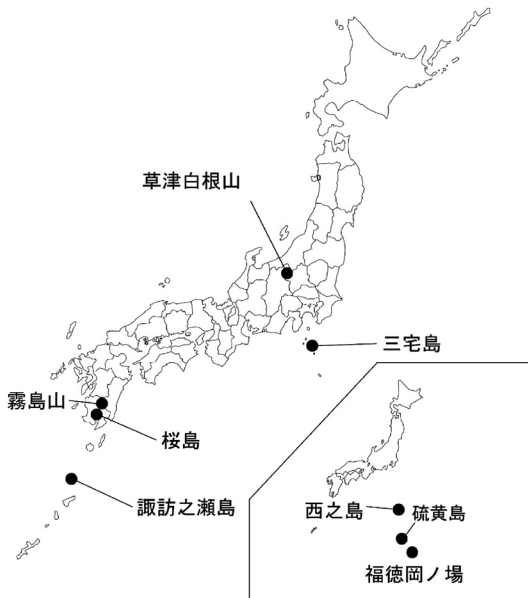


図 1. 2014年5月～6月に目立った活動があった火山

## 草津白根山 (36° 38' 38" N, 138° 31' 40" E)

3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められている。湯釜火口内の北壁等では熱活動の活発な状態が継続しており、5月頃からは湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる全磁力変化がみられている。また、東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。このため、湯釜火口では小規模な噴火が発生する可能性があると判断し、6月3日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に上げた。なお、火山性微動は観測されなかった。湯釜火口等の噴気の状況には特段の変化はみられなかった。

6月23日に群馬県の協力により実施した上空からの観測では、赤外熱映像装置による観測で、湯釜火口内北側斜面、北側噴気地帯で、前回（2014年4月22日）の観測と比較して、高温領域の分布に特段の変化は認められなかった。

## 三宅島 (34° 05' 37" N, 139° 31' 34" E)

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年2月以降はやや少量となっている。三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

火山性地震は概ね少ない状態で経過した。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特段の変化は認められなかった。火山性微動は観測されなかった。

GNSSによる観測では、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞している。一方、島内の長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続している。

## 西之島 (27° 14' 49" N, 140° 52' 28" E)

海上保安庁等の観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地が拡大しており、5月21日時点で、新たに形成された陸地の面積は噴火前の西之島の約4倍の約0.9km<sup>2</sup>になっているのが確認されている。

このため、6月3日に火口周辺警報（火口周辺危険）から火口周辺警報（入山危険）に引き上げた。また、6月11日に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を切り替え、警戒が必要な範囲を西之島の中心から概ね6km以内と明示した。

## 硫黄島 (24° 45' 02" N, 141° 17' 21" E (摺鉢山))

ミリオンダラーホールでは、2012年2月上旬から水蒸気爆発が度々発生しているが、今期間、噴火の発生はなかった。

火山性地震は、3月からやや多い状態で経過している。火山性微動が時々発生したが、火山性微動が観測された時間帯に、その他の観測データに特段の変化は認められなかった。地殻変動は、1月頃から停滞していたが、2月下旬頃から隆起の傾向がみられている。

## 福德岡ノ場 (24° 17' 05" N, 141° 28' 52" E)

6月11日に海上自衛隊、25日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測によると、両日とも福德岡ノ場付近では変色水等は認められなかった。

福德岡ノ場ではしばしば火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生している。

**霧島山 (新燃岳) (31° 54' 34" N, 130° 53' 11" E (新燃岳))**

新燃岳では、今期間噴火の発生はなかった。

新燃岳直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過した。また、新燃岳に隣接する大浪池および韓国岳付近では、2月頃から地震回数がわずかに増加している。

GNSS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられている。

**桜島 (31° 34' 38" N, 130° 39' 32" E (南岳))**

昭和火口では、活発な噴火活動が継続した。噴火の回数は、5月が35回（そのうち爆発的噴火は18回）、6月が48回（そのうち爆発的噴火は39回）であった。爆発的噴火のうち4回（5月2回、6月2回）は、大きな噴石が3合目まで飛散した。噴煙の高さの最高は、5月10日13時39分及び6月6日13時11分に発生した爆発的噴火による火口縁上4,500mであった。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測した。

南岳山頂火口では、噴火は発生しなかった。

火山性地震の月回数は少ない状態で経過し、噴火に伴い火山性微動が発生した。今期間実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,000～2,500トンと多い状態であった。島内北側の傾斜計では、2月頃から山体が隆起する傾向がみられ、島内南側の傾斜計では、4月頃から山体が隆起する傾向がみられている。GNSS連続観測では桜島島内の基線で、2013年7月頃からわずかな縮みの傾向がみられていたが、2014年1月頃から伸びの傾向がみられている。鹿児島地方気象台における降灰量は、月合計で5月が21g/m<sup>2</sup>、6月が51g/m<sup>2</sup>であった。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した火山灰の総噴出量は、5月が約20万トン、6月が約30万トンであった。

5月22日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力により実施した上空からの観測では、昭和火口、南岳山頂火口で、前回（2013年12月25日）の観測と比較して、火口周辺の状況に特段の変化は認められなかった。

**諏訪之瀬島 (29° 38' 18" N, 129° 42' 50" E (御岳))**

御岳火口で、活発な噴火活動が継続した。爆発的噴火の回数は、6月11回（5月：なし）であった。今期間における噴煙の高さの最高は、火口縁上1,000mであった。火山性地震の月回数はやや多い状態で経過し、火山性微動は時々発生した。期間を通して夜間に高感度カメラで火映を時々観測した。

（お知らせ）最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL [http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.htm](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)

（文責：気象庁地震火山部火山課 橋本祐樹）

**○公募等**

締切等が過ぎているものも記録のため掲載してあります。

最新の情報につきましては、メーリングリスト等にて随時ご案内しております。

**○人事公募**

【島根県立三瓶自然館】

【事業所名】 公益財団法人しまね自然と環境財団

【就業場所】 島根県立三瓶自然館

（島根県大田市三瓶町多根 1121-8）

【職 種】 正規職員（学芸員）

【業務内容】

1. 地質分野に関連する博物資料の収集、保管及び活用に関すること。
2. 地質分野に関連する調査研究、普及啓発に関すること。
3. その他一般事務等。

【応募資格】 昭和60年4月2日以降に生まれた者で、次のいずれかに該当する者。

1. 大学卒業又は卒業見込みの者で、学芸員資格を有するか、または、原則として3年以内に取得する見込みのある者。
2. 1.以外の者で、博物館・企業等で3年以上の地学系の実務経験があり、学芸員の資格を有する者。

【応募提出書類】

1. 公益財団法人しまね自然と環境財団職員採用選考試験申込書
2. 作文（次のテーマから一つ選び、1600文字以内で記載。用紙不問）
  - ア) 地質学を通しての三瓶自然館の魅力を高めるには
  - イ) 地方における博物館の存在意義について
  - ウ) 今までに一番力を入れて取り組んできたこと
3. 卒業証明書（コピー可）卒業見込みの者は卒業後提出。
4. 所有資格の証明書（コピー可）

【応募受付期間】 平成26年7月1日（日）から平成26年8月31日（日）（提出書類必着）

【試験日時等】

1. 第1次選考：書類審査（応募資格、作文により審査）

2. 第2次選考：筆記試験及び面接試験 平成26年9月27日(土)10:00～

※詳細については、第1次選考の結果に併せ通知

※第1次選考通過者多数のときは、面接試験を9月28日(日)とする場合があります。

【採用予定】 平成27年4月1日

【勤務条件】

初任給：月額140,000円程度(経歴調整、勤務評価に基づく昇給あり)

手当等：通勤手当、住居手当、扶養手当、賞与

【就業時間】 9:00～17:45(休憩時間45分)

【休日】 週休2日制(休日は月毎に指定)、有給休暇あり

【書類送付先】

〒694-0003 鳥根県大田市三瓶町多根 1121-8

公益財団法人しまね自然と環境財団 職員採用係

【問い合わせ】 0854-86-0500(公益財団法人しまね自然と環境財団 帯刀公平)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月20日送信しました)

【山形大学理学部地球環境科】

1. 職種・人員 講師1名

常勤、任期なし

2. 専門分野 岩石学に関する分野

3. 応募資格

(ア) 博士の学位を有する方

(イ) 優れた研究業績があり(査読付原著論文またはそれに準ずるものが6編以上、ただし3編以上が英文)、着任後も当該分野の研究を意欲的に推進できる方。関連教員と協力して分析機器の管理・運営を行うことができる方。岩石分野にはEPMA, XRF, ICP-MS, Laser-Raman, XRD等があります。

(ウ) 学科開講科目の「岩石学実験」と「鉱物学」を担当可能な方で、同様の科目を担当した実績があることが望ましいです。「卒業研究」、「野外巡検」、「野外実習」、「自然科学基礎実験」等の学科開講専門科目も担当していただきます。なお、学科開講科目のほかに、全学の基盤教育(教養教育)、学部共通教育、大学院の教育を担当していただきます。

(エ) 学科・学部の教員と協調して意欲的に教育研究にあたり、学科・学部の発展に大きく貢献しうる方。山形県や近隣地域を対象とした研究も行うことができる方。

(オ) 外部資金獲得に意欲的な方。国際交流に積極的に取り組むことができる方。

4. 着任時期 平成27年4月1日

5. 提出書類(各1部)

(ア) 履歴書(高校卒業以降、賞罰、所属学会、連絡先の電話番号と電子メールアドレスを明記し、写真貼付のこと)

(イ) 研究業績リスト(査読付き原著論文、著書、総説・報告などに区分すること)

(ウ) 主要論文の別刷5編以内(コピー可)

(エ) これまでの研究経過(2000字程度)

(オ) 着任後の教育と研究に関する抱負(2000字程度、地方大学の教員としてどのように教育と研究に臨むかという視点を含むこと)

(カ) 科研費等研究助成金の獲得状況、特許、受賞、国際共同研究、国際会議招待講演、社会連携や地域貢献、学会での活動状況、学外学内委員会等の役職歴をまとめた文書

(キ) 応募者についてご意見をいただける方の連絡先(お二人まで)

(ク) これまでに担当された授業の一覧(常勤・非常勤を区別して)

(ケ) 卒業論文、修士論文、博士論文等の指導実績一覧(いままで指導した論文の種類、年号、タイトル、および主たる指導か補助的な指導の別を明記すること)

6. 書類提出締切 平成26年6月30日(月)必着

7. 書類提出先

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学理学部地球環境学科長

(郵送の際は公募書類在中と朱書願います。宅配便等の品名欄には公募書類と明記願います。)

8. 問い合わせ先

学科長 鈴木利孝

TEL 023-628-4643

E-mail: [suzuki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:suzuki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

9. 所属部局とスタッフ 山形大学理学部地球環境学科(講座制なし)

田中久雄 教授 岩石学(平成27年3月末で定年)

長谷見晶子 教授 地球物理学

中島和夫 教授 鉱床学

丸山俊明 教授 地質学

柳澤文孝 教授 地球化学

鈴木利孝 教授 地球化学

Jordan Richard 教授 海洋学

伴 雅雄 教授 岩石学

本山 功 准教授 地質学

岩田尚能 准教授 地球年代学

加々島慎一 准教授 岩石学  
 大園真子 講師 地球物理学  
 吉村俊平 助教 岩石学 (個別任期付き 平成 27  
 年 3 月末まで)

#### 10. その他

- ・応募書類は原則として返却できません。当方で責任をもって廃棄処分いたします。
- ・大学卒業証明書や健康診断書等、提出書類の追加を求める場合があります。
- ・面接や模擬授業をおこなっていただくことがあります。その際の旅費等をご負担願います。
- ・国立大学法人山形大学の規定により定年は 65 歳です。
- ・山形大学は男女共同参画を積極的に推進しています。(男女共同参画推進室ホームページ <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>)
- ・地球環境学科の詳細は次の学科ホームページでご覧になれます。

<http://ksgeo.kj.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 5 月 21 日送信しました)

#### 【北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター】

1. 職名・人員：非常勤研究員・1 名
2. 募集専門分野：地震学・火山学・その基礎となる分野。(非常勤研究員は地震学・火山学に関する研究を地震、地殻変動、電磁気、津波等の手法を用いて推進する。)
3. 応募資格
  - (1) 採用時に博士の学位があること。
  - (2) 2014 年 4 月 1 日現在で 35 歳未満。
4. 任用期間：原則として採用日から 3 年間。ただし契約は 1 年度毎。
5. 着任時期：採用決定後なるべく早い時期。
6. 報酬：学歴によるが月額約 30 万円。(短時間勤務職員として採用するために社会保険関係は適用されません。)
7. 研究費：研究員には研究費を手当てします。(平成 25 年度の場合年間約 61 万円。)
8. 応募書類：(応募書類は個人情報保護に留意して取り扱います。返却は致しません。)
  - (1) 履歴書。
  - (2) 研究業績一覧(査読つき論文、査読なし論文、その他、著書、報告書等で特に参考になるもの等)。
  - (3) 研究の計画と抱負(A4 紙 1 枚程度)。
9. 応募の締め切り：2014 年 6 月 30 日(月) 必着。

#### 10. 書類の提出先および問合せ先

060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目  
 北海道大学大学院理学研究院附属  
 地震火山研究観測センター  
 村上 亮

TEL：011-706-4484 / FAX：011-746-7404 (代表)

E-mail：mccopy\_mm@mail.sci.hokudai.ac.jp

(非常勤研究員応募書類」と朱書の上、書留にて送付してください。)

#### 11. 当センターの概要は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/isv/>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 5 月 26 日送信しました)

#### 【北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門・地球惑星ダイナミクス分野】

##### 1. 職種・人員：

自然史科学部門・地球惑星ダイナミクス分野 准教授または講師・1 名

ただし、場合によっては助教としての採用もあり得る。

##### 2. 専門分野：

測地学的手法で、固体地球・水圏・気圏の変動・相互作用などに関する研究を新しい視点から当分野教員と協力して推進でき、大学および大学院での教育に熱意を持つ方。

##### 3. 応募資格：

博士号を取得していること。

国籍は問わないが、研究・教育・運営に支障が無い程度に日本語が使えること。

##### 4. 着任予定時期：2015 年 4 月 1 日。

##### 5. 応募書類：

(1) 履歴書(国内外の学会活動、受賞歴、参加しているプロジェクト研究歴、各種研究費受領歴、非常勤講師の経歴などを含む)

(2) これまでの研究経過(2,000 字程度)

(3) 研究業績目録(和文のものは和文で表記すること)

A. 査読のある論文および総説

B. 査読のない論文および総説

C. 著書

D. 解説、報告などその他の出版物で特に参考になるもの

(4) 主な論文別刷または著書 5 篇(複写可)

(5) 今後の教育・研究の計画と抱負(2,000 字程度)

- (6) 教育経験がある場合は、これまでの教育活動の概要(1000字程度)、学位審査履歴(主査・副査のほか実質的指導を含む)。
- (7) 応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先(e-mail addressを含む)
- ※(1)-(7)の紙媒体1部に加え、PDF形式電子ファイルを記録したメディア(CD、DVD、USBメモリ等)も提出のこと。ただし(4)はPDF形式電子ファイルを作成し難い場合は紙媒体のみで可とする。また可能な限り(4)以外の全データを1ファイルにまとめること。
6. 応募締切: 2014年9月5日(金)(必着)  
封筒の表に「教員公募(地球惑星ダイナミクス分野准教授等)関係」と朱書きし、郵便・宅配便の場合には配達記録の残る方法で送付して下さい。応募書類は返却しません。
7. 公募締切後の選考段階で、面接あるいは講演会等を行うことがあります。
8. 書類の送付先:

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院理学研究院

自然史科学部門・地球惑星ダイナミクス分野

理学部8号館3階322号室

自然史第二支援室

TEL: 011-706-3554 FAX: 011-746-2715

9. 問い合わせ先
- 〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
- 北海道大学大学院理学研究院
- 自然史科学部門・地球惑星ダイナミクス分野
- 理学部8号館3階メールボックス
- 蓬田 清
- TEL: 011-706-2758, FAX: 011-746-2715
- Email: yomo@mail.sci.hokudai.ac.jp

【地球惑星ダイナミクス分野・教員構成】

| 研究室名     | 教授                | 准教授   | 講師    | 助教           |
|----------|-------------------|-------|-------|--------------|
| 海洋気候物理学  | 見延庄士郎             | 稲津 将  | 佐々木克徳 | Na Hanna(特任) |
| 宇宙測地学    | 日置幸介<br>古屋正人      | (本公募) |       |              |
| 陸水循環学    |                   | 知北和久  |       |              |
| グローバル地震学 | 蓬田 清              | 吉澤和範  |       |              |
| 地震ダイナミクス | 小山順二(2015年3月退職予定) |       |       |              |

教育・研究は研究室制で運営されており、その構成は変更が可能です。

自然史科学部門・地球惑星ダイナミクス分野は、教員

の所属組織である理学研究院に属しています。当分野の教員は大学院の教育組織である理学院においては、自然史科学専攻・地球惑星ダイナミクス講座に所属します。

地球惑星ダイナミクス分野では全教員が

大学院教育: 大学院理学院・自然史科学専攻

学部専門教育: 理学部・地球惑星科学科

全学教育(北大全体の主として1年生の教育)

の教育(講義・演習・実験)と研究指導を行います。

当分野および関連組織については、以下のホームページも御覧下さい。

自然史科学部門・地球惑星ダイナミクス分野

自然史科学専攻地球惑星ダイナミクス講座

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/grp/dyna-admin/geodynamics/>

北海道大学理学部地球惑星科学科

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/eps/>

北海道大学大学院理学院

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/graduate/>

北海道大学理学部

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/>

また北海道大学は女性研究者への支援を行っています

<http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月26日送信しました)

【国土地理院】

- ・職 名: 地理地殻活動研究センター 宇宙測地研究室 研究官
- ・募集人員: 1名
- ・採用時期: 平成26年9月1日(月)
- ・職務内容: 人工衛星等による宇宙測地技術を高度に利用した高精度な測位環境の構築に関する研究

応募の条件

- 1) 宇宙測地に関連して、地球規模での測地基準系を踏まえた人工衛星等による高精度測位技術の経験・業績を有すること。
- 2) 1)の経験・業績を前提として、地球ダイナミクス、重力場、地殻変動、理学と工学の融合、屋内測位、システム開発に係る事項に関する研究に自主的・積極的に取り組む意欲を有すること。
- 3) 博士の学位を有すること。
- 4) 測地学、地球物理学に関する十分な専門的知識を有すること。
- 5) 日本語によるコミュニケーションに支障がないこと。

応募締め切り: 平成26年6月23日(月) ※必着

選考方法：書類審査（一次審査）及び面接（二次審査）により、応募条件を満たす者のうちから、上記職務内容に関する知識、研究実績、研究意欲に最も優れた者1名を選考する。

提出書類：

- (1) 履歴書（市販の用紙を使用）
- (2) 研究業績リスト
- (3) 主要論文1～2点とその要約
- (4) 業務に対する抱負を2000字以内で述べたもの  
（(2)～(4)はA4サイズとする）

※郵送の場合は封筒に「応募書類在中」と明記の上、書留で郵送すること。

提出先・問い合わせ先

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
国土地理院地理地殻活動研究センター  
研究管理課長

TEL：029-864-5969 FAX：029-864-2655

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに5月30日送信しました）

#### 【北海道立総合研究機構 地質研究所】

1. 職種・人員 研究職員
2. 募集区分 地球化学  
（地球科学の基礎知識、並びに地球化学に関する専門知識を有する者）
3. 受験資格 昭和55年4月2日以降に生まれた者で、修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
4. 提出書類 申込書、返信用封筒、写真
5. 受付期限 平成26年6月30日（金）消印有効
6. 第一次試験日：平成26年7月20日（日）札幌市にて実施
7. 採用時期 平成27年4月1日
8. 勤務条件 初任給：平成27年4月1日現在における新卒者の場合の例  
例1（博士課程修了）259,896円  
例2（修士課程修了）208,642円  
手当等：通勤手当、住居手当、扶養手当、賞与等  
詳細につきましては、下記をご覧ください。  
募集要項（申込方法も記載）、申込書、Q&Aなどがございます。

<http://www.hro.or.jp/recruit/recruit/index.html>

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月11日送信しました）

#### 【東京大学地震研究所】

1. 推薦者の資格：日本在住の、国立大学法人・公・私立大学及び国、公立研究機関の教授もしくは准教授またはこれに準ずる研究者
2. 被推薦者の資格と人数：教授、准教授、助教、博士号取得後研究者  
もしくはそれらに相当する研究歴をもつ外国在住の研究者 若干名
3. 雇用期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日のうち3ヶ月以上
4. 研究分野：地震・火山および関連諸分野
5. 推薦締切：平成26年8月27日（水）必着
6. 提出書類：○応募用紙（様式1：推薦者が記入のこと）1部  
○被推薦者の履歴書 1部  
○被推薦者の業績リスト 1部  
○被推薦者の研究歴（英語で300-500語程度）1部  
○被推薦者の地震研滞在期間の研究計画（英語で300-500語程度）1部
7. 宛先及び問合せ：〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1  
東京大学地震研究所 国際地震・火山研究推進室 佐竹健治  
Tel. 03-5841-0219 電子メール：intl-office@eri.u-tokyo.ac.jp
8. 注意事項：「国際室外国人客員教員推薦応募書類在中」の旨を記し、書留郵便で送付するか、または電子メールに添付のファイルで送付すること。
9. 選考方法：東京大学地震研究所共同利用委員会が決定する。
10. 採否の決定通知：9月末頃までに書面または電子メールにより通知する。

#### 【共同利用ホームページ URL】

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/index.html>

#### 【WEB 申請はこちら】

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/info.html>

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月16日送信しました）

#### 【NPO 法人桜島ミュージアム】

1. 職名・人員：ジオパーク専門員・1名
2. 募集専門分野：地質学・火山学・地理学
3. 応募資格：
  - (1) 大学で地球科学（地質学など）を専攻した者
  - (2) 2014年8月1日現在で35歳未満

4. 任用期間：1年間（更新あり）
5. 着任時期：2014年8月1日
6. 報酬：月額約20万円
7. 応募書類：
- (1) 履歴書
  - (2) 作文「私が桜島・錦江湾ジオパークでしたいこと」（A4用紙，2,000字以内）
  - (3) 業績一覧（学術論文，書籍，ボランティア活動など）
8. 募集期間：2014年7月31日まで随時受付  
（採用者が決まり次第公募終了のため，早めにご応募ください）
9. 書類の提出先および問合せ先：  
NPO法人桜島ミュージアム  
〒891-1541 鹿児島市野尻町205  
電話：099-245-0100 FAX：099-2450101  
メール：info@sakurajima.gr.jp  
担当：福島大輔
10. 参考 URL：http://www.sakurajima.gr.jp/topics/001798.html  
（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月2日送信しました）

**【京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設】**

職 種：研究員（非常勤）

募集人員：3名

勤務場所：附属地球熱学研究施設（大分県別府市）又は  
火山研究センター（熊本県阿蘇郡）

応募資格：着任の時点で，博士学位を有すること。

研究分野および職務内容：

研究分野：地球熱学および関連分野

本施設に所属している研究者やその研究分野等の詳細については，HP等（http://www.vgs.kyoto-u.ac.jp）を参照のこと。なお，応募にあたっては，本施設の教員と必ず事前に連絡を取り，研究計画について相談すること。相談の適任者が見出せない場合は，施設長（kagiyama\*aso.vgs.kyoto-u.ac.jp）と相談すること。（\*を@に変えてください）

職務内容：本施設の研究者と協力して，施設が行っている研究分野あるいは，その関連分野における研究を進展させると共に，地球熱学の新しい領域を開拓する。

着任時期：平成26年10月1日以降できるだけ早い時期  
任 期：平成26年10月1日～平成27年3月31日まで

※以後更新する場合あり（最大通算3年まで）

勤務形態：週19時間勤務（時間雇用教職員）

※土・日曜，祝日，年末年始，創立記念日および夏季休業日を除く

※本学基準に基づき年次休暇を付与 ※必要に応じて超過勤務を命じる場合があります。

給与・手当等：時間給3,900円 本学支給基準に基づき，超過勤務手当を支給

（その他の手当，賞与，退職手当は支給しません）

社会保険：労災保険に加入

応募方法および必要書類：

1. 履歴書 氏名，生年月日，住所，連絡先（電話およびE-Mailも記載）学歴（高校入学以降の入学年月日，卒業年月日），職歴，資格，賞罰，学会賞など
2. 業績目録 査読論文，査読なし論文，学会発表など（博士号（題目，取得大学，時期も記載））
3. 研究の概要および今後の研究の抱負（各A4，1枚程度）
4. 主要論文3編以内

応募方法：上記書類をPDFファイル（1，2，3は同一ファイル）で下記応募先に送付すること。

E-Mail：kagiyama\*aso.vgs.kyoto-u.ac.jp（\*を@に変えてください）

応募締め切り 平成26年8月19日（火曜日）必着

問合せ先：

〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽5280

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター 鍵山恒臣

電話 0967-67-0022（阿蘇）075-753-3938（京都分室）

E-Mail：kagiyama\*aso.vgs.kyoto-u.ac.jp（\*を@に変えてください）

その他：

提出していただいた書類は，採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示，譲渡および貸与することは一切ありません。なお，応募書類はお返ししませんので，あらかじめご了承ください。

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月2日送信しました）

**【茨城大学理学部地球環境科学領域（地球物理学分野）】**

1. 職名・人数：准教授または助教（常勤・任期なし）1名
2. 所属（専門分野）：理学部地球環境科学領域（地球物理学分野）
3. 応募資格：

（1）理学部における，地震学や測地学を中心とする

固体地球物理学分野の講義・実験・実習を担当できる方。また教養科目を担当できる方。

- (2) 博士の学位を有し、大学院理工学研究科博士前期課程における教育・研究の指導ができる方。
- (3) 学部生・大学院生の教育と研究指導に熱意を持ってあたり、かつ地球科学技術者養成プログラム(注)における人材育成にも参加できる方。また地球環境科学領域の教員と協力して教育・研究を意欲的に推進できる方。

(注) 理学部理学科地球環境科学コースでは、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けた地球科学技術者養成プログラムにおいて、地球科学に関連する分野の専門技術者として活躍できる人材の育成を行っています。

4. 採用予定日：平成27年4月1日
5. 応募締切：平成26年10月31日(金)必着
6. 提出書類：

- (1) 履歴書(市販のもので可、写真貼付)
- (2) 研究業績目録(以下のように区分して記載)
  - A. 査読付きの論文(総説を含む)
  - B. 査読のない論文(総説を含む)
  - C. 著書
  - D. 報告書その他の出版物で特に参考になるもの
- (3) 主な論文の別刷または著書 5編以内(複写可)とその内容の簡単な解説
- (4) これまでの研究経過と教育活動(国外・国内の共同研究への参加状況、国際・国内学会での主な講演、受賞、現在までに取得した競争的資金、教育経験など、特記すべき事柄を含めてください。A4用紙2枚程度)
- (5) 教育への抱負(A4用紙1枚程度)
- (6) 今後の研究計画(A4用紙1枚程度)
- (7) 応募者について参考意見をいただける方(2名)の氏名および連絡先(所属、住所、連絡先、E-mail)封筒の表に「地球物理学分野教員応募書類在中」と朱書し、書留にて郵送してください。なお応募書類は希望されない限り返却いたしませんので、返却を希望される方は、宛名を書いた返信用封筒(切手貼付)を同封してください。

7. 書類送付先および問い合わせ先：

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学理学部教員選考委員会(地球環境科学領域)委員長 藤縄明彦 TEL：029-228-8398

E-mail：fujinawa@mx.ibaraki.ac.jp

8. 参考：

当学部、領域の概要、メンバー等は、下記ホームページを参照してください。

<http://www.sci.ibaraki.ac.jp/http://www.sci.ibaraki.ac.jp/generalinfo/teacher/>

9. その他：

書類審査による第一次選考の後、第二次選考として、研究に関する講演をしていただき、領域メンバーによる教育・研究に関する面接を行います。なお、講演並びに面接への旅費等は個人負担にてお願いいたします。

〈個人情報利用目的について〉

茨城大学理学部の教員公募に関連して提供された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の個人情報を除き、すべての個人情報は責任をもって破棄いたします。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月12日送信しました)

【茨城大学理学部地球環境科学領域(惑星科学分野)】

1. 職名・人数：准教授または助教(常勤・任期なし)1名
2. 所属(専門分野)：理学部地球環境科学領域(惑星科学分野)
3. 応募資格：

(1) 理学部における惑星科学分野の講義・実験・実習等を担当できる方。

また教養科目を担当できる方。特に、太陽や太陽系天体、あるいはそれらの構成物質を対象に、観測、データ解析、ないしは分析的手法を用いて研究を行っている方。

(2) 博士の学位を有し、大学院理工学研究科博士前期課程における教育・研究の指導ができる方。

(3) 学部生・大学院生の教育と研究指導に熱意を持ってあたり、かつ地球科学技術者養成プログラム(注)における人材育成にも参加できる方。また地球環境科学領域の教員と協力して教育・研究を意欲的に推進できる方。

(注) 理学部理学科地球環境科学コースでは、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けた地球科学技術者養成プログラムにおいて、地球科学に関連する分野の専門技術者として活躍できる人材の育成を行っています。

4. 採用予定日：平成27年4月1日
5. 応募締切：平成26年10月31日(金)必着
6. 提出書類：

- (1) 履歴書(市販のもので可、写真貼付)
- (2) 研究業績目録(以下のように区分して記載)
  - A. 査読付きの論文(総説を含む)



- B. 査読のない論文（総説を含む）
- C. 著書
- D. 報告書その他の出版物で特に参考になるもの

- (3) 主な論文の別刷または著書 5編以内（複写可）とその内容の簡単な解説
- (4) これまでの研究経過と教育活動（国外・国内の共同研究への参加状況，国際・国内学会での主な講演，受賞，現在までに取得した競争的資金，教育経験など，特記すべき事柄を含めてください。A4用紙2枚程度）
- (5) 教育への抱負（A4用紙1枚程度）
- (6) 今後の研究計画（A4用紙1枚程度）
- (7) 応募者について参考意見をいただける方（2名）の氏名および連絡先（所属，住所，連絡先，E-mail）封筒の表に「惑星科学分野教員応募書類在中」と朱書きし，書留にて郵送してください。なお，応募書類は希望されない限り返却いたしませんので，返却を希望される方は，宛名を書いた返信用封筒（切手貼付）を同封してください。

#### 7. 書類送付先および問い合わせ先：

〒310-8512 水戸市文京 2-1-1  
 茨城大学理学部教員選考委員会（地球環境科学領域）  
 委員長 藤縄明彦  
 TEL：029-228-8398  
 E-mail：fujinawa@mx.ibaraki.ac.jp

#### 8. 参考：

当学部，領域の概要，メンバー等は，下記ホームページを参照してください。 <http://www.sci.ibaraki.ac.jp/http://www.sci.ibaraki.ac.jp/generalinfo/teacher/>

#### 9. その他：

書類審査による第一次選考の後，第二次選考として，研究に関する講演をしていただき，領域メンバーによる教育・研究に関する面接を行います。なお，講演並びに面接への旅費等は個人負担にてお願いいたします。機器分析センターには，共同利用の分析機器として現在，XRF，ICP，SEM/EDS，XRD，TEM等があります。

〈個人情報の利用目的について〉

茨城大学理学部の教員公募に関連して提供された個人情報については，選考の目的に限って利用し，選考終了後は，選考を通過した方の個人情報を除き，すべての個人情報は責任を持って破棄いたします。

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月12日送信しました）

#### ○その他の公募

##### 【東京大学地震研究所】

1. 登録事項：特定共同研究 A，特定共同研究 B，及び特定共同研究 C の研究課題
2. 登録資格：国立大学法人，公・私立大学及び国・公立研究機関の教員・研究者又はこれに準じるもの。
3. 登録方法：本状添付の指定の様式（T-1）に記入の上，Web より提出して下さい。様式は地震研究所共同利用ホームページからもダウンロードできます。（提出先） <https://www.pasreg.jp/reg/top/erikyodo/author>（様式） <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/shinseiyousiki.html>
4. 登録期限：平成 26 年 7 月 31 日（木）

##### 【共同利用ホームページ URL】

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/index.html>

##### 【WEB 申請はこちら】

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/info.html>

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月16日送信しました）

##### 【東京大学地震研究所】

#### 1. 公募事項

##### （1）特定機器利用

地震研究所では，全国の地震・火山の関連分野の研究遂行に資するため，施設・実験装置・観測機器等の共同利用を行っております。このうち，別表 M-3 にある特定機器についてのみ，来年度利用分より1年ごとの公募を行うこととしました。2ヵ月以上の利用を希望される場合には，以下の記載事項をご参照のうえ，期日までに必ず本所共同利用 HP（<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/info.html>）より Web 申請を行ってください。

本通知をはじめ，各種様式は本所共同利用 HP に掲載してあります

2. 申請資格：国立大学法人，公・私立大学及び国・公立研究機関の教員・研究者又はこれに準じる者。
3. 申請方法：共同利用 HP（<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/shinseiyousiki.html>）にある様式 M-1 に必要事項を記載の上，上記 HP より Web 申請してください。
4. 研究期間：研究期間は，平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月までとします。
5. 申請期限：平成 26 年 7 月 31 日（木）【厳守】  
 なお，本申請は，年に1回ですが，臨時貸出の場合は，その限りではありません。

##### 【共同利用ホームページ URL】

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/index.html>

【WEB 申請はこちら】

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/sharing/info.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月16日送信しました)

【女性科学者に明るい未来をの会】

第35回猿橋賞募集のご案内

- 1) 対象：推薦締切日に50才未満で、自然科学の分野で、「創立の主旨に沿った」優れた研究業績を収めている女性科学者
- 2) 表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、1件(1名)
- 3) 応募方法：当会のホームページ <http://www.saruhashi.net/> から推薦書類をダウンロードし、A4用紙に印刷して、1.推薦者(個人・団体、自薦も可)・受賞候補者の略歴・推薦対象となる研究題目2.推薦理由(800字程度)、及び3.研究題目に関連する主な業績リスト(指定は1頁です。やむを得ない場合でも追加は1頁までです)を記入して、主な論文別刷5編程度(2部ずつ、コピーも可)を添え、5)の推薦書類送付先までお送り下さい。
- 4) 締切日：2014年11月30日(必着)
- 5) 推薦書類送付先：〒270-1147 千葉県我孫子市若松165-5

女性科学者に明るい未来をの会

(当会の本宛先は推薦書受付専用です。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承下さい)

今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認下さい。なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。

[saruhashi2015@saruhashi.net](mailto:saruhashi2015@saruhashi.net)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月26日送信しました)

【おおいたジオパーク推進学術研究論文等の募集】

大分県では、昨年9月に日本ジオパークに認定された、おおいた姫島ジオパーク及びおおいた豊後大野ジオパーク地域において、学術的な面から地域の価値を新たに掘り起こし、地域資源や地域の魅力の再発見につながるような「学術研究論文」及び「調査研究レポート」を広く募集します。姫島あるいは豊後大野の地形・地質・動植物・歴史・文化等に関することを、ジオパークに関連づけて大いに論じていただきたいと思います。

ご応募いただいた学術研究論文及び調査研究レポート

のうち、特に優秀と認められるものについては、表彰のうえ、学術誌等への掲載支援、学術研究論文・調査研究レポート集の刊行などを行い、両地域のジオパーク活動に活用させていただきます。

(学術論文等の募集の概要)

○募集論文等：

- (1) 学術研究論文
- (2) 調査研究レポート

○募集テーマ((1),(2)共通)：

おおいた姫島ジオパーク、おおいた豊後大野ジオパークに関する調査研究(地形・地質・教育・地域活動・歴史・文化等に関するもの)

○応募期限等：

- (1) 学術研究論文(要旨1頁)：平成26年8月25日(月)
- (2) 調査研究レポート(10頁以内)：平成26年10月3日(金)

※詳細は下記の県庁ホームページでご確認いただけます。

・県庁ホームページ(学術研究論文等募集要項)：

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13000/geo-ronbun.html>

(参考)

・おおいた姫島ジオパーク推進協議会ホームページ：

<http://www.himeshima.jp/geopark/>

・おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会ホームページ：

<http://bungo-ohno.com/>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月27日送信しました)

【「朝日賞」候補者推薦のお願い】

「朝日賞」は、1929(昭和4)年に朝日新聞社が創刊50周年を記念して創設したものです。

人文や自然科学など、わが国のさまざまな分野において傑出した業績をあげ、文化、社会の発展、向上に多大な貢献をされた個人または団体にお贈りしております。

広く各界の皆様から候補者のご推薦を頂戴したあと、さらに幅広くご意見を伺ったうえ、朝日賞選考委員会で慎重に審議し、受賞者を決定いたします。

会員の方で、推薦する方がございましたら、8月18日(月)までに日本火山学会事務局にお知らせください。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月4日送信しました)

【独立行政法人海洋研究開発機構】

独立行政法人海洋研究開発機構では、平成27年度の海洋研究の実施にあたり、独立行政法人海洋研究開発機

構が運営する「なつしま」、「よこすか」、「かいいい」、「みらい」等を利用する課題の公募を下記の日程で行います。  
(募集期間)

平成 26 年 7 月 3 日 (木)～平成 26 年 7 月 18 日 (金)  
(午後 5 時必着)

詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

[http://www.jamstec.go.jp/maritec/j/public\\_offering/application/2015/](http://www.jamstec.go.jp/maritec/j/public_offering/application/2015/)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 7 月 4 日送信しました)

#### 【株式会社パレオ・ラボ】

・ 助成内容

14C 年代測定 (AMS 法) 10 点無料測定  
15 万円支給

・ 応募条件

35 歳以下の研究者 (定職にない方) および大学院生  
年代測定を必要とする研究テーマであること  
採用枠は自然科学 2 名, 考古学 2 名

・ 応募メ切

2014 年 7 月 31 日

詳細は下記ページをご確認ください。

<http://www.paleolabo.jp/jyosei.html>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 7 月 23 日送信しました)

#### ○ EPS 誌関係のお知らせ

##### 【EPS 誌についての報告とお願い】

火山学会会員の皆様

欧文誌 “Earth, Planets and Space” (EPS 誌) に関してご報告とお願いを致します。

1. EPS 誌の出版状況と出版論文リストの配信について  
5 月 12 日に Springer 社から EPS 誌についてプレスリリースがありました。

<http://www.springer.com/about+springer/media/pressreleases?SGWID=0-11002-6-1464248-0>

昨年 9 月 17 日に SpringerOpen で投稿受付開始してから 8ヶ月余りが経過しましたが、5 月 19 日現在で 241 編の論文投稿があり、33 編の論文が出版されています。

<http://www.springeropen.com/>

なお、EPS 誌の出版論文の通知をいち早く受け取りたい方は、以下サイトに登録・ログインいただいた上で、EPS 誌の Article alerts にご希望の設定をお願いします。

<http://www.earth-planets-space.com/logon?url=%2Fmy>

#### 2. 論文投稿のお願い

EPS 誌運営委員会では会員の皆様の投稿をお待ちしています。会員の論文掲載料 (APC) は 200 ユーロになります。論文投稿前に必ず以下 URL をご確認ください。

<http://www.earth-planets-space.com/authors/instructions>

<http://www.earth-planets-space.org/submission.html>

<http://www.earth-planets-space.org/ja/member.html>

※ Submission Code は以前メールにてご案内致しましたが、ご不明の方は火山学会事務局までお問い合わせください。Submission Code が会員外に漏れないようにご注意下さい。

#### 3. Frontier Letter 推薦のお願い

EPS 誌では Springer への移行にあわせて Frontier Letter を創設しました。

<http://www.earth-planets-space.com/authors/instructions/frontierletter>

Frontier Letter は優良著者による優れた短い論文を投稿いただき、論文掲載料 (APC) 無料で出版させていただくというものです。これまで主として学会推薦をいただいて執筆依頼をしてきましたが、会員の皆様からひろく自薦・他薦を問わず受付をさせていただきたいと思えます。推薦著者の氏名・連絡先・期待される論文の内容・論文執筆承諾の有無について小川編集委員長まで直接推薦をお願いします。編集委員会で審査の上で推薦著者に執筆依頼をさせていただくことになります。

Editor-in-Chief: Prof. Yasuo Ogawa (Tokyo Institute of Technology, Japan) editor-in-chief (at) earth-planets-space.org ((at) を @ に変換お願いします)

#### 4. EPS 賞についての紹介

EPS 誌では若手研究者が筆頭著者として EPS 誌に掲載された論文から優れた論文を選んで表彰しています。EPS 賞の対象となるのは論文投稿時に 35 歳以下の研究者で、過去 2 年間に出版された論文が対象となります。今後とも若手の皆様からの EPS 誌への積極的な投稿をお待ちしております。先日お知らせしましたが、2013 年の受賞者 2 名のうち 1 名は津川卓也会員でした。

<http://www.earth-planets-space.org/eps-award.html>

#### 5. 特集号の提案状況と新規提案のお願い

EPS 誌では従来から特集号を推進していますが、SpringerOpen でも継続して積極的に推進していきます。現在までの EPS 誌の全特集号リストは以下になります。

<http://www.earth-planets-space.org/special-issue.html>

先日、IGRF 12th generation の特集号の提案がされ、承認されました。

“International Geomagnetic Reference Field — The Twelfth generation”

Guest Editors : Erwan Thebault and Christopher C. Finlay

Deadline : 1st Dec., 2014

会員の皆様はもちろん、一般からも特集号提案を随時受付けております。

提案手続き等詳細は以下をご覧ください。

<http://www.earth-planets-space.org/special-issue-p.html>

#### 6. バックナンバーについてのお知らせと引用のお願い

EPS 誌運営委員会から最後のお願いです。会員の皆様による EPS 誌掲載論文の積極的な引用をお願いいたします。特に普段 EPS 誌に論文を投稿されない会員の方々におかれましては、論文投稿前に EPS 誌掲載の関連論文が引用文献リストから抜け落ちていないか、以下 URL 右下のバックナンバー検索窓で確認をいただければ幸いです。

<http://www.earth-planets-space.org/ja/>

2012-2013 年出版論文の 2014 年 1-12 月の平均引用度数が IF (2014) となりますが、EPS 誌の将来にとって極めて重要です。EPS 誌科研費（研究成果公開促進費）の中間審査は IF (2014) とその内容によって評価されることとなります。なお、1998-2013 年に出版された EPS 誌のバックナンバー全論文について 2014 年 1 月以降はオープンアクセス (Creative Commons Attribution License) となり、著作権は著者が保持することになります。論文 PDF は自由に配布可、リポジトリなどにも自由に置くことができます。バックナンバーは現在はテラパブサイトに論文 PDF が置かれて doi のリンク先となっていますが、2015 年 1 月までに SpringerOpen のサイトに doi のリンク先が順次移行し、2014 年以降の出版論文とまとめて検索・閲覧可能となります。

EPS 誌運営委員 (金子・前野・嶋野)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 5 月 26 日送信しました)

#### ○研究集会等のご案内

【福岡大学 国際火山噴火史情報研究所】

1. 日時：2014 年 6 月 21 日 (土) 10 時から
2. 場所：福岡大学七隈キャンパス  
18 号館 2 階講義室 (1823, 1824, 1826)
3. 懇親会 (18 時から、文系センター棟 16 階スカイラウンジ、会費 3000 円)

#### 4. プログラム

##### A 会場 (1824 教室)

10:00 藤木利之 (岡山理科大・理)・永迫俊郎 (鹿児島大・教育)・森脇 広 (鹿児島大・法文)・奥野 充 (福岡大・理)

「花粉分析による火山噴火の植生への影響」

10:15 森脇 広 (鹿児島大・法文)

「始良カルデラ周辺の沖積低地に挟在するテフラ」

10:30 奥野 充・八塚楨也 (福岡大)・及川輝樹・下司信夫 (産総研)・星野安治 (奈文研)・中村俊夫 (名古屋大)

「6 世紀中葉の榛名 FP の 14C ウィグルマッチングから何がわかるか?」

(休憩)

11:00 小林哲夫 (鹿児島大・理工)

「カルデラ噴火予知の展望」

12:00-13:00 (昼食)

##### A 会場 (1824 教室)

13:00 高橋伸弥 (福岡大・工)・奥村 勝 (福岡大・情報処理セ)・鶴田直之 (福岡大・工)

「地質学研究室における卒業研究関連データ管理支援システムの提案」

13:15 奥村 勝 (福岡大・情報処理セ)・鶴田直之 (福岡大・工)・鳥井真之 (熊本大・減災教育セ)・奥野 充 (福岡大・理)・田口幸洋 (福岡大・理)・高橋伸弥 (福岡大・工)

「ジオパークを拠点とする市民参加型の地質データの収集とその応用」

13:30 鳥井真之・稲本義人・中條壮大・星出和裕・山田文彦・北園芳人 (熊本大・減災教育セ)

「災害情報のデータベース化と減災への応用」

(休憩)

14:00 大岩根 尚 (三島村役場)

「薩摩硫黄島を中心としたジオパーク構想」

14:15 大野希一 (島原半島ジオパーク協議会)

「島原半島ジオパークの新たな見どころ—今後の保全と利活用についての課題—」

14:30 吉川美由紀 (阿蘇火山博)・児玉史郎 (NPO 法人阿蘇ミュージアム)

「地域の防災リテラシー向上をめざす—熊本県阿蘇火山地域の例—」

##### B 会場 (1823 教室)

13:00 下司信夫 (産総研)

「カルデラ噴火の前駆過程：陥没を引き起こすトリガー」

13:15 長谷中利昭(熊本大・自然)・黒川 聖・山崎秀人・森 康  
「阿蘇-4 大規模火砕噴火直前および初期噴出物の岩石学的特徴」

13:30 大倉敬宏(京都大・理)  
「阿蘇カルデラの地球物理学研究」

(休憩)

14:00 松島 健(九州大・理)・福井海世・及川 純・渡邊篤志・奥田 隆・小澤 拓・宮城洋介・河野裕希  
「三宅島 2000 年噴火以降の地殻変動～次の噴火への準備過程」

14:15 稲倉寛仁(西日本技術開発)・成尾英仁(武岡台高)・小林哲夫(鹿児島大・理工)  
「阿多・池田カルデラの前駆的活動とその時間スケール」

14:30 鈴木桂子(神戸大・理)  
「幸屋火砕流の堆積機構」

(休憩)

ポスター会場(1826 教室) 15:00-15:45

矢羽田優輝(福岡大・工)・奥村 勝(福岡大・情報処理セ)

「露頭情報収集のためのモバイルアプリケーションの開発」

大野希一(島原半島ジオパーク協議会)

「島原半島ジオパークで残したい代表的な露頭と景観」

片平 要(日鉄鉦コンサル)・奥野 充(福岡大・理)

「開聞岳南山麓の海食崖の層序と放射性炭素年代」  
森脇 広(鹿児島大・法文)・奥野 充(福岡大・理)・永迫俊郎(鹿児島大・教育)・大平明夫(宮崎大・教育)・松島義章

「南九州、始良カルデラの完新世の隆起」

Chungwan Lim & Changyeol Lee (Chonnam National University)

「Genesis of the columnar joints in Mount Mudeung National Park, Republic of Korea」

杉山美実子・長谷中利昭(熊本大・自然)・森 康・長谷義隆・富田克敏

「阿蘇カルデラ西方の花房層に含まれる阿蘇-3～阿蘇-4 間のテフラと鉦物」

奥野 充(福岡大)・和田恵治(北教大・旭川)・鳥井真之(熊本大)・檀原 徹(京都 FT)・ガルティエリリン・サラータ プレン・中村俊夫(名古屋大)

「アリューシャン列島中央部のアダック島の完新世テフラ」

A 会場(1824 教室)

16:00 Chungwan Lim (Chonnam National University)  
「Tephrostratigraphy of Baegdusan and Ulleung volcanoes using marine sediments in the Japan Sea/East Sea」

16:15 中西利典(福岡大・噴火史情報研)・竹村恵二(京都大・理)

「沖積層ボーリングコア得られたテフラと放射性炭素年代による高精度編年」

16:30 味喜大介(京都大・防災研)・小林哲夫(鹿児島大・理工)

「桜島火山南岳成層火山体の形成時期と噴出量推定」

(休憩)

17:00 宮縁育夫(熊本大・教育)・小林哲夫(鹿児島大・理工)・長谷川健(茨城大)・金子克哉(京都大)・Festus T. Aka・大場 武(東海大)

「カメルーン共和国ニオス湖周辺の火砕堆積物層序」

17:15 片平 要(日鉄鉦コンサル)・奥野 充(福岡大)・小林哲夫(鹿児島大)

「開聞岳火山の古墳時代以降の山体形成」

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 11 日送信しました)

【島原半島の地下を見てみよう ボーリングコア公開と火山実験講座】のお知らせ

国立公園「雲仙」指定 80 周年および島原半島ジオパーク認定 5 周年記念イベントの一環として、雲仙岳火山観測施設で得られたボーリングコア試料を公開します。

あわせて地域社会に対し雲仙岳の火山活動及び火山防災への理解を深めることを目的に火山実験講座を開催します。

企 画：独立行政法人防災科学技術研究所・島原半島ジオパーク協議会

九州大学地震火山観測研究センター

協 力：国土交通省雲仙復興事務所

開催場所：長崎県島原市国土交通省雲仙復興事務所資料館および駐車場

内容および日時：

(1) ボーリングコア公開：

7 月 19 日(土) 13:00-16:00

7 月 20 日(日) 10:00-16:30

猿葉山(雲仙市雲仙市千々石町乙)、西有家(南島原市西有家町長野)、

南串山(雲仙市南串山町丙)の各観測点観測井で取

得された連続コア

試料(各点深さ 200m)を一室に展示します。島原半島を作る地層の

重なりや岩石の特徴を把握できます。(申込不要)

- (2) 火山講座「火山の観測とデータのよみ方 明日からあなたも火山学者?」

防災科学技術研究所は日本全国の 16 火山に観測施設を整備しています。

そこで得られた観測データとその解釈をご紹介します。

中学生～一般向け。(申込不要)

日時：7月20日(日) 13:30-14:00

- (3) 火山実験「体験してみよう火山噴火のしくみと火山観測」

火山噴火の仕組みや火山観測について、身近な材料をつかって模擬実験をしてみませんか。児童(保護者同伴)を対象に事前募集中。

(募集人員 20名:空気があれば当日参加可)

日時：7月20日(日) 14:00-16:30

詳しい内容、受付先の番号、募集用紙は下のリンクからご参照ください。

<http://www.unzen-geopark.jp/c-event/5051>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月11日送信しました)

## ○訃報

本会名誉会員 下鶴大輔 様(享年 90歳)が、去る 6月25日にご逝去されました。

慎んでお悔やみ申し上げます。

なお、葬儀は下記のとおり執り行われます。

・通夜式

平成 26年 6月 29日(日) 18:00～

・葬儀告別式

平成 26年 6月 30日(月) 10:30～12:00

・喪主 下鶴敦子 様

・儀式形態 仏式 宗派:浄土真宗本願寺派

・式場 久遠寺 光明閣

・住所 東京都新宿区西新宿 5-7-6

・電話番号 03-3372-4940

・交通機関 大江戸線「西新宿 5丁目」駅より 徒歩 3分

※ご供花、ご葬儀に関するお問い合わせは、こちらにお願いいたします。

株式会社アーバンフューネスコーポレーション

電話番号 03-5144-0673 FAX 番号 03-5144-0678

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに6月26

日送信しました)

## ○「火山」59巻2号 目次

「火山」59巻2号・目次をアナウンスいたします。

目次・掲載内容のほか、メーリングリスト限定、著者からの一言メッセージをご覧ください。

=====

・論説「富士火山、太郎坊に露出する新期スコリア層の全岩化学組成

—富士黒土層形成期付近を境とするマグマ供給系の変化」

著者：金子隆之・安田 敦・嶋野岳人・吉本充宏・藤井敏嗣

富士山東斜面にある「太郎坊」は新期スコリア層の模式地とされています。このスコリア層の全岩化学組成を測定した結果、古期スコリア層と比べてやや SiO<sub>2</sub> 含有量が高いことがわかりました。この原因として、富士黒土層で示される活動低調期の間に、浅部マグマ溜り中のマグマの分化が進んだ可能性が考えられます。

・論説「霧島火山、えびの高原周辺における最近 15,000 年間の活動史」

著者：田島靖久・松尾雄一・庄司達弥・小林哲夫

霧島火山のえびの高原周辺では、韓国岳の形成後、9000年前のマグマ噴火に伴い不動池溶岩が流出、4300年前には韓国岳の北斜面で岩屑なだれを伴う水蒸気噴火が発生、1600年前には既存の不動池火口で水蒸気噴火が発生、16～17世紀には不動池火口の脇でマグマ噴火が発生し硫黄山溶岩が流出、1768年には韓国岳の崩壊斜面の一角で水蒸気噴火が発生した。これらの噴火では、活動毎に火口位置が変わるという特徴が明らかになり、今後の火山活動を考える上での貴重なデータが得られた。

・論説「隠岐諸島、島前火山の始まりと活動期間」

著者：鹿野和彦・金子信行・石塚 治・千葉とき子・柳沢幸夫

島前火山は島根半島の沖合の、アルカリ火山岩からなる後期中新世のカルデラ火山である。

この、アルカリ火山岩の起源などをめぐって注目されてきた、やや開析された古い火山については、多数の年代測定がなされている。しかし、その基底層が海面下にあるため、島前火山の活動開始時期は、これまで判然としなかった。そこで、中ノ島のボーリングで回収された基底層粗面玄武岩溶岩の石基について段階加熱による Ar-Ar 年代を測定を試みたところ、6.382±0.018 Ma のプラトーン年代値を得た。島前火山は 5.4 Ma

の焼火山火砕丘形成後に活動を停止しており、したがって、この結果は、島前火山の活動期間が約 100 万年の長きにわたることを示唆する。

・寄書「高原火山、富士山におけるマグマ混合機構：苦鉄質包有物による検討」

著者：田島義之・荒川洋二・池端 慶・金井啓通

栃木県北部に位置する高原火山において、最新の活動で形成された富士山溶岩ドームの調査を行いました。デサイトからなる富士山は苦鉄質包有物を産出し、鉱物化学組成や全岩化学組成などからマグマ混合を示唆する結果が得られました。

・国際火山学地球内部化学協会 2013 年学術総会報告書  
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 6 月 30 日送信しました)

### ○学会からのお知らせ

【新ドメインへの移行およびメールアドレス変更について】

会員各位

日本火山学会

この度火山学会では、独自ドメインを取得し、ホームページ URL および学会メールアドレスを移行します。7 月 1 日から運用を開始しております。目的は、わかりやすいアドレスにすることと、学会で使用するサーバやプロバイダの変更の際に、アドレスを変更しなくてもよいようにするためです。

(1) 火山学会ホームページの URL は以下のように変更されます。

<http://www.kazan.or.jp>

旧アドレス (<http://www.kazan-g.sakura.ne.jp>) も当面は使用可能です。ホームページの一部に古い URL が残りますが、少しずつ修正していきます。

(2) 会員の皆様をご利用になるメールアドレスは以下のように変更されます。

・学会事務局メールアドレス及び会員へのお知らせアドレス

[kazan-gakkai@kazan.or.jp](mailto:kazan-gakkai@kazan.or.jp)

旧アドレス ([kazan@khaki.plala.or.jp](mailto:kazan@khaki.plala.or.jp)) は、しばらくは移行期間として使用可能ですが、廃止される予定です。

・今年の秋季大会用講演申込み用メールアドレスは変更されません。ご注意下さい。

[kazan-taikai@ymail.plala.or.jp](mailto:kazan-taikai@ymail.plala.or.jp)

・学会で運用するメーリングリストのアドレスも変更されます。こちらについては個別にご案内します。

会員の皆様には、移行に伴いご負担をおかけします

が、ご協力のほどよろしく申し上げます。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 7 月 2 日送信しました)

【「火山防災のためのコンピューティングワークショップ」のお知らせ】

火山防災ハザードマップの作成や、リアルタイムでのハザード評価にコンピュータシミュレーションを用いる必要性は古くから叫ばれてきました。

近年、様々な実用的コードの公開や、数値地図情報の一般化、コンピュータ環境の向上によって、火山地質学者がこうしたことに容易に取り組める素地が出来つつあります。

本ワークショップではこうした潮流を踏まえて、参加者自身のノートパソコン上で Tephra2, VHub, Titan2D, QGIS, PUFF などの利用を可能にすることを目的とします。またこれらの運用に必要な地形等のデータを無料で入手し、加工する方法を習得します。

研究や業務でこれらのソフトウェアを使いたい、インストールが出来ない、インストールはしたが使い方がわからない、使っているけど使い方に自信がないなどの悩みを抱える初心者方を歓迎します。

【主催】日本火山学会

【日程】2014 年 10 月 10 日～13 日 (4 日間)

【場所】日本大学文理学部図書館・オーバルホール

【定員】30 名

(先着順により受け付けます。原則として火山学会員に限りませんが大学生・大学院生の参加も認めます)

【カリキュラム】

○1 日目 13:00～17:00 Linux 環境の整備と各種ソフトインストール

講義、実習で用いる環境とソフトウェア (GMT, Tephra2, QGIS, TITAN2D, PUFF など) を整備します。ご自身の PC, Mac をご持参ください。

すでにインストールされている場合、1 日目は参加されなくても構いません。

○2 日目 10:00～17:00 講演

Tephra2, VHub, QGIS, Titan2D などの概要、無料データのダウンロードと加工。

○3 日目 10:00～17:00 参加者の PC を利用した実習  
一般的な利用法を確認した後、各自の研究や業務の課題に向けた利用法を検討します。

○4 日目 10:00～15:00 参加者の PC を利用した実習  
一般的な利用法を確認した後、各自の研究や業務の課題に向けた利用法を検討します。

講師：宝田晋治（産業技術総合研究所）・常松佳恵（山梨県富士山科学研究所）・佐々木寿（アジア航測）・清杉孝司（東京大学地震研究所）・萬年一剛（神奈川県温泉地学研究所）

参加申込み：ワークショップ実行委員

(kazansimulation@gmail.com) 宛に9月19日までにメールでお伝えください。

このとき併せて習得したいソフトウェアについてもご連絡下さい。なお、宿泊の用意は各自でお願いします。

会場に関する問い合わせ先：金丸龍夫 (kanamaru.tatsuo@nihon-u.ac.jp)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月11日送信しました)

### ○秋季大会関係

#### 【日本火山学会2014年度秋季大会のご案内】

日本火山学会2014年度秋季大会は、福岡市の福岡大学七隈（ななくま）キャンパスの理学部（18号館）および中央図書館で開催されます。福岡大学七隈キャンパスは福岡市の南西部に位置し、福岡市の中心部天神（天神南駅）から地下鉄七隈線でわずか16分とアクセスも非常に便利です。

今大会では、11月2日～4日の学術講演会のほか、11月1日には一般公開のシンポジウムや子供向け公開講座が開催されます。学術講演会の前後には、韓国・チェジュ（済州）島、島原半島ジオパーク、九重および由布・鶴見岳、五島福江火山での現地討論会が予定されています。また本年は日本火山学会創立60周年目にあたりますので、会期中に記念シンポジウムが開催されます。

<http://www.kazan.or.jp/doc/kazan2014/>

#### 1. 会期・会場

- 1.1 会期 2014年10月28日（火）～11月5日（水）  
 ・学術講演会：2014年11月2日（日）～11月4日（火）  
 ・60周年記念シンポジウム（11月3日（月）午前）  
 ・火山防災シンポジウムおよび公開講座（11月1日（土））  
 ・現地討論会（チェジュ（済州）島（10月28日～10月31日）、島原ジオパーク（10月30日～31日）、九重および由布鶴見岳（11月4日～6日）、五島福江火山（11月5日））

#### 1.2 会場

福岡大学七隈キャンパス 福岡大学18号館2階講義室および中央図書館多目的ホール

〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8-19-1

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>

会場アクセス：福岡市中心部（天神南）から地下鉄七隈線 福大前または七隈駅下車。

#### 2. 講演申込み

7月21日（月）より受付を開始します。Web（または郵送）により投稿ください。

投稿締切り：

Webによる申し込み：8月27日（水）午後4時

投稿先 URL：

<http://www.kazan.or.jp/doc/kazan2014/application.html>

予稿原稿（PDF ファイル）送信先

kazan-taikai@ymail.plala.or.jp

郵送による申し込み：8月20日（水）学会事務局必着

郵送による投稿先（郵送先）※ FAX では受付ません

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-2-9-406 日本火山学会事務局

#### 3. 参加料（講演予稿集込み）

会員：2,000円（学生・満70歳以上は半額）非会員：4,000円

※予稿集のみの販売も同額になります。事前に予稿集の入手を希望する方は、

10月17日（金）までに送付先・送付希望冊数を明記して学会事務局にお申し込みください。

発行は10月下旬を予定しております。

※学部学生・高校生等の参加料は無料ですが、予稿集は別途購入してください（1,000円）

#### 4. 講演・ポスター

口頭発表の1講演は質問を含め15分です。

ポスターパネルの大きさは幅約93cm、高さ約170cmです。

ポスター会場には電源がありませんので、電源の必要なパソコンやビデオの使用はできません。口頭発表数に余裕がある場合、ポスター発表内容を講演会場にて簡単に口頭説明していただく場合があります。

#### 5. 秋季大会に関する連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-2-9-406

日本火山学会事務局 03-3813-7421

2014年度秋季大会実行委員会

E-mail：ehai1@fukuoka-u.ac.jp

皆様のご参加をお待ちしております。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月14日送信しました)

#### 【2014年秋季大会団体展示募集のご案内】

日本火山学会2014年秋季大会では、以下の通り団体展示を募集いたします。



企業展示、書籍販売、大学・研究所紹介等多くの展示参加をお待ちしております。

なお、展示スペースは、B会場およびポスター展示会場に隣接した会場（理学部18号館内）を予定しております。

申し込み方法：

参加団体名および展示責任者の方の氏名及び連絡先を添えて、日本火山学会事務局 [kazan-gakkai@kazan.or.jp](mailto:kazan-gakkai@kazan.or.jp) までメールにてお申し込みください。

申し込み締切り：9月17日（木）18時

団体展示の参加費は以下の通りです。

会員の団体：1展示あたり1万円

非会員の団体：1展示あたり3万円

なお、大学や研究機関の展示、書籍販売につきましては1展示あたり1万円とします。

また、1展示につき2名まで参加費無料で入場いただけます。また予稿集2冊を配布します。展示に関する詳細については、申込受理後、2014年秋季大会実行委員会からお知らせする予定です。そのほか、会場の設備についてご不明な点は、秋季大会実行委員会 [ehai1@fukuoka-u.ac.jp](mailto:ehai1@fukuoka-u.ac.jp) までお問い合わせください。

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月6日送信しました）

#### 【火山学会秋季大会講演申込みについて】

過日お知らせ致しましたとおり、日本火山学会2014年度秋季大会は、福岡市の福岡大学七隈（ななくま）キャンパスの理学部（18号館）および中央図書館で開催されます。

そろそろ講演申込みのしめきりが迫って参りましたので、再度、ご案内致します。どうぞお早めにお申し込みください。

7月21日（月）より受付を開始します。Web（または郵送）により投稿ください。

投稿締切り：

Webによる申し込み：8月27日（水）午後4時

投稿先 URL：

<http://www.kazan.or.jp/doc/kazan2014/application.html>

予稿原稿（PDFファイル）送信先

[kazan-taikai@ymail.plala.or.jp](mailto:kazan-taikai@ymail.plala.or.jp)

郵送による申し込み：8月20日（水）学会事務局必着

郵送による投稿先（郵送先）※FAXでは受付ません

〒113-0033 東京都文京区本郷6-2-9-406

日本火山学会事務局

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月18日送信しました）